



# リサイクルQ&A

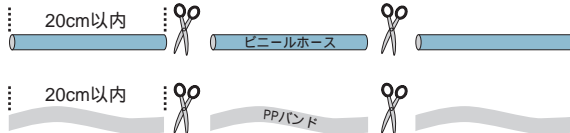
今回は資源ごみの中で違反ごみとして残された物の一部をご紹介します

まぎらわしい物は、立会いの人がいる時間に必ず出向いてたずねましょう！

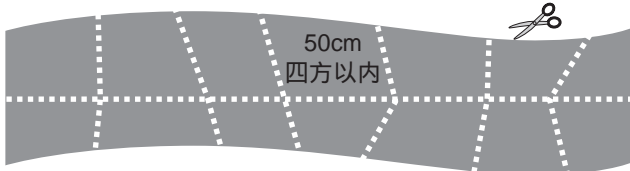


Q: 町指定のごみ袋やコンテナに入らない物はどうすればいいの？

●長さの長い物（ビニールホース・PPバンドなど）



●面積の広い物（ビニールシート・発砲スチロールなど）



分別の手引きや分別チラシをお持ちでない方は、役場福祉保健課、または野方支所でお受け取りください！



A: 長い物は20cm以内・広い物は50cm以内に切ってから出しましょう。詳しくは、分別の手引きを見るか、電話でおたずねください！

## ごみ分別の注意点とお願い

○ ビニールシートなどは、大きいまま出すとリサイクルセンターの機械の故障のもととなってしまふ恐れがあります。小さく切ってから町指定の資源ごみ袋に入れて出してください！

## ワンポイントアドバイス

- 衣装ケースなど小さくできない物はヒモでしばってから、資源ごみの日に出しましょう！
- ゴムホースは一般ごみとなります！
- 金属製の物でもコンテナに入らない大きさの物は粗大ごみとなります！
- ★今回ご紹介した物は、毎月出るごみではありません！少しづつ分けて出すなど工夫してみましょう。

《問い合わせ先》大崎町役場福祉保健課環境係 TEL 76 - 1111 内線 145



## 保健師だより

### 『始めよう！肺がん対策』

がんです。肺がんは喫煙がその原因の大部分であることが明らかにされています。予防の決め手は、タバコを遠ざけることです。タバコにはニコチンを始め200種類以上の有害物質が含まれており、タバコの害は肺だけでなく、全身のがん発生に影響があります。タバコを吸い始めた年齢が若いほど、また、1日の喫煙本数が多いほど、がんになる確率は高くなります。実際に肺がんは、高齢者に発生率が高いことから、タバコの害は30〜40年後に現れてくると考えられます。喫煙者の中には「今さらタバコをやめても仕方ない」という人がいますが、これはとんでもない大きな誤りです。いくらこれまでに多くのタバコを

近年、がんによる死亡が増えています。これに伴って、がんに対する関心も高まっています。しかし、「がんは怖い」というだけで、現実には、がんに対して無防備の人が多いのが事実です。

本町での悪性新生物による死因のトップは「肺がん」です。この「がんの芽」が、後10回分裂するだけで、1キログラムの大きさにまで成長するといわれています。1キログラムの大きさというと、ほぼ大人の握りこぶし大です。分裂の速さは個人差もあり、一定ではありませんが、見方を変えれば「がんの芽」が1キログラムになるまでの時間は短いといえます。

このようなことから、検診を毎年必ず受けることが、いかに大切か、お分かりいただけると思います。

本町では、平成16年度から新たに肺がん検診を実施していますので、ぜひ受診し、早期発見・早期治療に努めましょう。

健康に関する相談は、保健センターへお気軽にどうぞ!! TEL 76 - 1111 (内線 146・147)